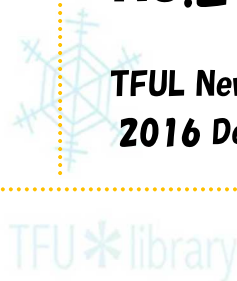


としょかんぽう

東北福祉大学図書館報
Tohoku Fukushi University Library News

No.24

TFUL News
2016 Dec



◇ Table of Contents ◇

- ❖ ブックレビュー 1-2
 けいがい
 警咳に接する
 教育学部 教育学科教授 きたい 鍛代 敏雄
- ❖ 直木賞 3
 直木賞の直木って直木、、何さん？
- ❖ 図書館員からのおススメ本 4
 ついに‘魔女っ子’も参戦！
- ❖ インタビュー 5
 小野萌々子さんに聞きました。
 ー今も、そしてこれからもずっと楽しく生きたいー
- ❖ 図書館みらい予想図 6
 第1回 素敵な図書館
- ▣ 図書館からのお知らせ 7
 編集後記

ブック レビュー

— 驚咳^{けいがい}に接する —

教育学部 教育学科教授 鍛代^{きたい} 敏雄

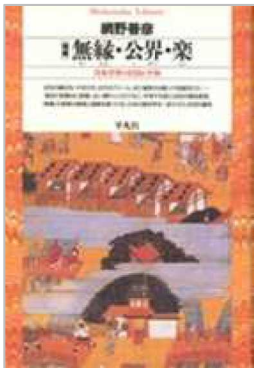
『日本国語大事典』（小学館）を紐解くと、尊敬する人に面会して直接話を聞くこととある。弱冠のわたしの場合は、尊敬というよりも、驚嘆といったほうが精確だろう。網野善彦著『無縁・公界・楽^{くがい}』（平凡社、1978年）に遭遇した直後、著者に会いたいという衝動にかられた。さっそく授業時間と教室番号を探り出し、夜間の神奈川大キャンパスを訪れて講義にもぐった。かかる企ての常套手段、さほど大きくはない教室の最前列に陣取り、机上に本著を置いた。授業の内容はほとんど覚えていない。講義後、即座に挨拶をした。今日は名古屋に帰るから、次週、短期大学の研究室に来るようにと、おっしゃった。約束のその日、研究室は紫煙に包まれていた。学生の話をつくり聞いてくださった。戦国都市論をぶつけた。勝俣さん（鎮夫氏）から教わったから、とやんわりかわされた。同じ長さの吸い殻がカネの灰皿の縁にきれいに並べられていた。

『無縁・公界・楽』は、歴史学者の著作にたいするイメージを反転させてくれた衝撃の書だった。書き出しは、なんと「エンガチョ」。縁切の話は駆込寺へ、さらに戦国時代の「公界」や「無縁所」へと遡及し、楽市楽座から自治都市、職人や女性など、未開社会のアジールにまで論が及ぶ。日本の歴史文明論だ。副題に「日本中世の自由と平和」と見えるが、日本的な自由の原理を探索する歴史紀行のようだ。網野さんは中世荘園史研究の第一人者、いまでは教科書にも載る荘園公領制の提唱者で、実証的な歴史学者である。だから裏切られた感もあった。

「まえがき」の記述がずっと気になっている。都立高校の教壇で生徒の質問に窮して「絶句、立往生」したこと。〈天皇家はなぜ滅びなかったのか〉〈平安末・鎌倉時代にどう

して高僧が登場したのか)。この歴史学上の難題は、とくに日本中世史を専攻する研究者への重要な問いだ（わたしは「^{けがれ}穢」と教団化の観点から答案を導き出そうと苦学している）。その後、学会などで二、三度^{かいこう}邂逅し、お話をいただいた。拙著を謹呈したら、お返しに『古文書返却の旅』（中公新書）をいただいた。史料の保存と管理の大切さを学んだ。文化財学の参考になっている。

一昨年、作家の北方謙三氏と会食する機会を得た。網野さんの警咳に接したことを聞いた。南北朝の時代小説を書くために会ったそうだ。『日本常民生活絵引』（平凡社）をご覧なさいの一言。網野さんらしい教示だと思う。北方著『武王の門』（新潮社）が出た後の対談は、網野著『歴史と出会う』（洋泉社）に収められている。



『無縁・^{くがい}公界・楽

日本中世の自由と平和 』

平凡社 網野 善彦 著

所 在：学生閲覧図書
請求記号：081/ヘイ/学関

「ブックレビュー」の中でご紹介して頂いた図書について

〈本学図書館所蔵の図書〉

『絵巻物による日本常民生活絵引』 所 在：書 庫 請求記号：382.1/シフ

『古文書返却の旅』 所 在：学生閲覧図書 請求記号：210.029/アミ/学関

『武王の門』上・下巻 所 在：学生閲覧図書 請求記号：913.6/キタ/学関

〈仙台市立図書館所蔵の図書〉

『歴史と出会う』

直木賞

－ 直木賞の直木って直木、何さん？ －

恥ずかしながら、私は知りませんでした・・・。

前回まではあまり世間に知られていないような文学賞を取り上げてきましたが、今回はとても有名な文学賞「直木賞」を取り

上げたいと思います。

7月に今年上半期の直木賞の受賞者が決まりました。その時ふと思いました。

「直木賞の直木って直木・・・誰さんだろう？知らない・・・」

本に関わる仕事をしている者としてこれはまずいのでは、と危機感を感じたところからこの記事を書こうと決め、コソコソと直木賞について調べ始めました。

既に知っている方には、もはや周知の事実かもしれませんが、お読み頂ければ幸いです。

まず、一番の問題点「直木賞」の直木が誰かということからです。

これは「直木三十五」という方であることが分かりました。読みは「なおき さんじゅうご」。

普通にそのまま読みます。なかなかインパクト大です。よって直木賞の正式名称は「直木三十五賞」となります。

直木三十五は大正末期から昭和初期に活躍した作家で、時代小説や大衆小説を多数執筆したそうです。43歳という若さで亡くなりましたが、翌年、友人だった文芸春秋の創業者「菊池寛^{きくちかん}」によって「大衆文学の歴史を変える貢献」として直木の功績を記念し「直木賞」が制定されました。（大衆文学とは、一般大衆の興味に訴え、その要求を満足させるために、娯楽的読み物として作られた文学のことをいいます。）

毎年2回、優れた大衆文学を書いた新進もしくは中堅の作家に贈られます。

ちなみに今年上半期の受賞は萩原浩さんの「海に見える理髪店」でした。

下半期はどの作家のどの作品が受賞するのでしょうか。

選考会は来年1月中旬に行われます。

正賞は
懐中時計



『海に見える理髪店』 集英社 萩原浩著 所在：ベストセラー 請求記号：オキ/ベストセラー

－ ついに‘魔女っ子’も参戦！ －

図書館員 からの おススメ本

忘れられない瞬間がある。ドイツで訪れたある博物館でのこと、剛健な石造りの円柱が特徴的な 2 階建ての建造物で、ギリシャ・ローマ時代の建物を再現したもの。そうか！と、ピンときた。

シェアクラブで読んだジェシー・シェラ著の原書「Introduction to library to science」に出てきた、古代の図書館の建物の表現そのものだった。当時、「円柱で支えられた、古代様式で」といった単語を拾えるのみで、建物のビジョンが全く浮かばなかった。これだったか！と、あの時の一説が形になった瞬間だった。



「司書」という仕事は、こういった出来事に感動できる‘素質’を持っていないときつと向かないだろうと思う。個人的にこういった素質を持っていたかはわからないが、それは「魔女シリーズ」を執筆されている恩師というお手本

があったからだと確信している。そう、恩師こと大島真理氏の最新作魔女シリーズの第 7 弾、『魔女っ子たちの図書館学校』は、彼女のゼミ生や教え子、元同僚の半人前？な「魔女っ子」たちが、恩師である「魔女」の教を胸にゼミでの思い出や、仕事での様子、ブックレビューなどが書かれている。ちなみに、筆者を含め本学の図書館員数名、シェアクラブの面々も執筆している。それぞれのブックレビューの後には、「魔女」から「魔女っ子」たちへの‘独断のプロフィール’が付記されており、見所の一つである。

表紙の絵は、大島氏のゼミ生である永野早紀さんが担当し、ふんわりとした魔女の世界をディテールにも凝って表現され、思わずジャケ買いしたくなる 1 冊（残念ながら、図書館所蔵のものには表紙なし）。時には好奇心を無性に刺激され、時には心の繊細な部分をそっと刺激され、ある時は途方もなく食欲を刺激されたりと色々な刺激が詰まっている。そして、「魔女っ子」たちの成長は、あなたの成長のヒントにもなるだろうと思う。

（図書係：八巻 千穂）



『魔女っ子たちの図書館学校』

郵研社 大島真理 編著

所 在：学生閲覧図書

請求記号：010.4 /オオ/学関

インタビュー

— 今も、そしてこれからもずっと楽しく生きたい —

現在、学生生活支援課・保健室・図書館の3箇所でお花の作品を展示してくれている情報福祉マネジメント学科3年の小野萌々子さんに、活動についてお話を聞かせてもらいました。

・『フラワーコーディネーターを目指そうと思った理由はなんですか？』

2年間大学を休学したときに、福岡でお花屋さんのアルバイトをしていたんですよ。その時に衝撃っていうか、それに近いぐらいにこの仕事って楽しいなと思ったのがきっかけです。

・『学内で展示をしようと思ったきっかけはありますか？』

復学したいと思ったとき、根拠のない自信がついていました。それで、復学したと同時に花の教室に通い始めたんです。創った作品をどうしようかなって考えて、自分の作品を見てもらいたい気持ちがあったので、学校に置かせてもらおうと思いつきました。

・『実際に展示をしてみようですか？』

今の時点で図書館が特に責任があってやりがいのある場所だなと思います。パッと視線を向けてくれる方が非常に多いので、嬉しいです。いざ始めてみると、いかに自分が未熟であるかということを実感されるような感じがありましたね。でも、どんなに大変でも「絶対またやろう」と思うので、自分は花が好きなんだなって改めて感じます。

・『これからの活動予定などを聞かせてください』

3箇所（学生生活支援課、保健室、図書館）で展示させていただいていますし、これを卒業までは続けたいです。本音を言えば自分の手が足りなくて、一緒に活動する同志がいれば、っていう思いはありますね。

・『展示を見てくれる学生に向けて一言お願いします』

本当に手探りでやってるので、不安は拭えなくて。もっと見てくださってる人の意見が聞きたいなと思います。「違う色がよかった」とか、なんでも自分の作品に声をかけてもらえたらいいなと思いますし、あわよくば作成中に「何してるんですか？」って声かけてほしいなと思っています。

小野さん、ありがとうございました！

図書館2Fで展示してもらっている作品の傍に、小野さんの活動について同志募集のメッセージが置いてあります。興味のある方はぜひ見てみてくださいね。（閲覧係：鈴木 純平）



－ 第1回 素敵な図書館 －

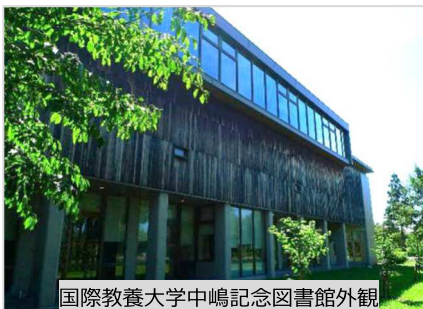
“今までどのくらい図書館を見たことがありますか？”

この「としょかんぼう」をご覧になっているみなさんは、きっと図書館が好きな人だと思いますが、福祉大の図書館以外の図書館には行った事がありますか？日本にはたくさんの図書館があ

り、そのどれもがそれぞれ特色がある日本で唯一の図書館になっています。すごいでしょう。宮城県にもいくつかの図書館がありますね。特にメディアテークにある仙台市民図書館は全国的にも有名です。

ですが、今回は秋田県のお話です。私の地元が秋田県だからです。秋田県で一番有名な図書館というと、きっと国際教養大学の図書館なのではと思います。秋田杉を使用した半円コロセウム状の建物をネットや雑誌で見たことがある人もいるのではないのでしょうか。

最近流行の壁一面天井まで書架を設置するのと同じ見えますが、こちらはすり鉢状に段々になっているので、ほとんどが手に取れる高さで不便はないのです。他にも、多くの学生が敷地内に居住していること、海外からの留学生が多いことも、ここの図書館に特色を付けています。ぜひ、ちょっと調べてみてください。



国際教養大学中嶋記念図書館外観

調べましたか？なかなか素敵な図書館でしたね。地元ではハリポタみたいなんて言われてましたよ。うちもこのようにしてほしいと思いました？でも、この図書館は福祉大に合いますかね？そう、素敵な図書館ならどこにでも合うというわけではないのです。その地域や利用

者、大学であればカリキュラムや学生の傾向を、よく考えて、何十年後のことまでよく考えて“つくる”ことで結果、素敵な図書館になるのです。流行や見た目のカッコよさとらわれず、よく考えた“素敵な図書館”。私たちも、そんな図書館をつくりたいものです。

(図書係：堀 慧子) 6

図書館
みらい
予想図

国際教養大学中嶋記念図書館内



図書館からのお知らせ

☆冬季休業中の長期貸出

期 間：平成 28 年 12 月 12 日（月）～

返 却 日：平成 29 年 1 月 12 日（木）

対象資料：図書

＊ベストセラーも含む。貸出冊数は通常と同じ。

☆展示情報

実施中の展示・・・2F フロア「晴れの日・雨の日に読みたい本」

期間：11 月 17 日（木）～12 月 26 日（月）

次回の展示予告

展示テーマ「ぶく袋」・・・期間：平成 29 年 1 月 5 日（木）～2 月 8 日（水）

＊展示の詳細は、図書館 HP で確認できます。

☆1F 展示フロアのご案内

1F エントランスにてサークルや同好会等、作品展示の場の提供を行っておりますので、ぜひご活用下さい。ご利用の際は、図書館 2F 事務室までご相談下さい。



1F 展示フロア

「絵を描く会」の作品展示の様子

－ 編集後記 －

今号のブックレビューは、教育学科教授の鍛代先生にご寄稿して頂き、誠にありがとうございました。

「としょかんぼう」を前号からリニューアルし 2 回目、No.24 になります。12 月発行なので、表紙も冬っぽくしてみました。さて、この「としょかんぼう」をどれくらいの学生に読んで頂けているのか？、この存在に気づいていない学生もいるはず、と思いながら、今まで発行したものを振り返ってみました。本の紹介や学生へ役立つ情報、利用方法などを記事にしています。今までの「としょかんぼう」は図書館 HP の「図書館刊行物」からすべて閲覧することができますので、是非ご覧ください。これからも、学生の皆さんに役立つ情報をお届けしたいと思います。 《五十嵐・菅原・鈴木・八巻》

東北福祉大学図書館報「としょかんぼう」No. 24 2016 年 12 月

編集・発行 東北福祉大学図書館 〒981-8522 仙台市青葉区国見 1-8-1

TEL: 022-717-3309 FAX: 022-717-3309

E-mail: etsuran@tfu-mail.tfu.ac.jp

<http://www.tfu.ac.jp/libr/>

